

札幌市
中央図書館
所蔵資料
特別展

島義勇と草創期の札幌

明治2年、まだ原野であった札幌に赴き、
道都建設の基礎を築いた
開拓判官「島義勇」。

その功績について彼の描いた計画図、
明治初頭の古地図など
当館の所蔵資料を中心に紹介します。



講演会

札幌本府建設と 島判官の部下たち

講師

榎本 洋介氏 札幌市公文書館職員
元新札幌市史編集員

著書

「開拓使と北海道（北海道出版企画センター）」
「佐賀偉人伝5 島義勇」（佐賀城本丸歴史館）ほか

講演内容

島義勇の札幌本府建設を支えた十文字大主典、島の命により本州からの移民募集に尽力した小貫権大主典、北海道の海関政策変換のため道南へ派遣された石山大主典、さらに幕末に江戸湾防備を担った忍藩から採用された山田大主典など、島の政策を担う彼等の動きを探る。

平成27年
日時 11月7日(土) 13:30~15:00(開場13:00)

会場 中央図書館3階講堂

- ◆申込/なし(当日直接会場へ 先着120名)
- ◆講演会のお問い合わせ先/
札幌市コールセンター
TEL 011-222-4894 FAX 011-221-4894
(年中無休 8:00~21:00)

「島義勇伝」製作委員会/
エアードライブ「島義勇伝」より

開催期間

平成27年

10/15
October

平成27年

12/8
December

木 火

平日 8:45~20:00 土日祝 8:45~17:00
(休館日は17:00まで)

会場 札幌市中央図書館 1階展示室

主催 札幌市中央図書館 TEL.011-512-7320



およそ150年前までは原野であった札幌の地に赴いた開拓判官鳥義勇。彼の都市構想は現在190万都市となった札幌に生かされています。札幌市役所ロビーに設置された銅像は円山・コタンベツの丘から札幌の地を眺めている様子があらわされ、その台座に彫られた漢詩にはこの地を世界随一の都にする決意が詠まれています。本展示では昨年出版された歴史漫画『鳥義勇伝』をモチーフに鳥義勇の生涯とその功績を中心に草創期の札幌を紹介します。

「鳥義勇伝」製作委員会／エアータイプ「鳥義勇伝」より

展示内容


一 古地図にみる札幌のまちづくり



草創期の札幌地図や計画図から鳥義勇のえがいた都市計画を探ります。

鳥義勇が到着した頃の札幌の様子

二 書に見る開拓の群像



鳥義勇、黒田清隆をはじめ北海道・札幌の開拓に尽くした人々の残した当館所蔵の書を展示します。

鳥義勇自筆書簡(水戸藩十文字龍介宛)

三 鳥判官と周辺の人々

幕末の探検家松浦武四郎、佐賀藩主・初代開拓使長官鍋島直正など鳥判官に関わりの深い人物を所蔵資料とパネルで紹介합니다。

四 学校で習った鳥判官

「わたしたちの札幌」をはじめ郷土学習で鳥義勇をとりあげた副読本を紹介합니다。



鳥義勇(明治大正期の北海道(写真編)より転載)

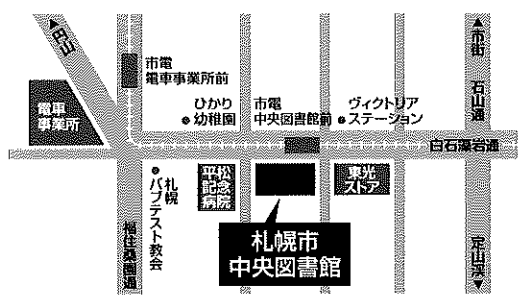
【鳥義勇略年表】

- 1822年(文政5) 佐賀城下精小路に藩士鳥市郎右衛門の長子として生まれる。
- 1847年(弘化4) 26才 藩校弘道館目付、のち藩主鍋島直正の外小姓となる。
- 1854年(安政1) 33才 藩命により江戸へ遊学し佐藤一斎、藤田東湖のもとで勉学に励む。
- 1856年(安政3) 35才 藩主鍋島直正の命により12月蝦夷地調査に出發。安政5年1月帰藩。
- 1864年(文久4) 43才 香焼島勤番所隊長に任命、その後、軍艦觀光丸の艦長となる。
- 1868年(慶應4) 47才 新政府への幕府海軍の引渡し交渉に立会い勝海舟らとも会談。
- 1869年(明治2) 48才 5月、蝦夷開拓御用掛任命。7月、開拓判官任命。9月、函館到着。10月、陸路で石狩に向かう。銭函仮役所を開設し事業開始。11月、札幌にはいり本府の建設着手。
- 1870年(明治3) 49才 東京召還の命を受け2月に札幌を離れる。4月大学少監任命。
- 1871年(明治4) 50才 7月、明治天皇の侍従、12月秋田県権令任命。
- 1874年(明治7) 53才 佐賀の乱で刑死。1916年(大正5) 從四位を追贈。

出典:「佐賀偉人伝 鳥義勇」

アクセス

札幌市中央図書館
 札幌市中央区南22条西13丁目
 市電「中央図書館前」下車



さっぽろ市
02-503-15-1214
27-2-773